

I 目指す学校像 「生徒が自分にチャレンジする学校」

教育目標である「個性伸長」「創造自立」「共存共育」の下、多様化・弾力化した教育活動とキャリア教育を通じて、

- ・ 自己を深く見つめ能力や適性を発見する
- ・ 社会に貢献できる能力や態度を養う
- ・ 人権尊重の精神を培う
- ・ 自主・自立の精神を培う

その上で、社会で自信をもって自立し生き抜いていく力を育成する。

II 今年度の取組目標と方策

1 教育活動の目標と方策

(1) 学習指導

ドラマケーションを通じて、生徒が自己の考えを表現してコミュニケーションができるよう取り組み、アクティブ・ラーニング型の授業を実践して授業の改善・工夫に努めた。また、机の配置を変えるなどの工夫をしたり、少人数指導の中でユニバーサル・デザインの手法を用いた授業実践を行ったりすることで、生徒一人一人の興味・関心を高め、理解力の向上に努め、基礎力の定着を図った。

基礎基本の定着に向け、習熟度別授業、少人数での展開授業を実施し、個に応じた指導を目指した授業改善・工夫を行った。

I C T機器の活用、実験・実習、体験学習によって生徒の興味・関心を引き出し、学習意欲を高め、授業出席率の向上を図った。また、T e a m sを活用した自宅学習用課題の配信など、生徒の学習支援に取り組んだ。夏季研修会では、I C T機器の活用についてデジタルサポーターによる研修を行った。

(2) 進路指導

進路指導部が中心となり、調査書発行に向けた校内研修会を実施し、卒業対象生徒がスムーズに調査書が発行できるように研修を行った。

生徒が抱えている課題や進路活動に必要な統一応募用紙について教員研修を実施し、人権に配慮した適正選考を意識できるように取り組んだ。

人権尊重教育を推進できるよう、外国にルーツのある生徒の在留資格について研修を行い、意識啓発を行った。

資格取得に向けた指導の充実と技能審査の成果に関する単位認定等を積極的に推進した。

面接試験対策指導法講座の講師を企業に依頼し、生徒に伝えたい「日々学ぶ意義、今後の社会の展望と求められる力」について教員研修会を実施した。

(3) 生活指導

桐ヶ丘マナー10箇条とともに、将来社会人として身に付けるべき規律・規範を徹底し、自主的・自律的な生活態度の育成に取り組んだ。大きな事故や事件を未然に防ぐことができた。また体力テストを実施し、生徒の体力維持に向けた資料とした。

(4) 特別活動・部活動

部活動加入率は約49%に留まったが、東京都大会に入賞するなど健闘した。文化部では、文芸部の生徒が関東大会に出場し、日頃の成果を発揮することができた。

東京2020オリンピック・パラリンピックのレガシーを受け、体育の授業でボッチャやモルック・フラッグフットボール等のスポーツを取り入れたり、総合的な探究の時間で障害について考察したりする機会を設けることで、オリンピック・パラリンピック教育の推進・理解を深めた。

(5) 健康づくり

「健康教育」講演会(デートDV)を実施するとともに保健の授業をとおして生徒への指導を行った。また、感染症防止対策を徹底し、学ぶ環境の安全確保を図った。

ポロニアスポーツフェスティバルでは、感染症対策を十分に行い、可能な範囲での保護者や地域との連携機会を確保した。

(6) 募集・広報活動

募集定員を確保するために、広報活動の機会を増やし、学校訪問及び学校のホームページを活用した募集活動を推進した。学校紹介動画の配信やホームページの更新により情報発信に努めた。

学校説明会で、生徒会役員の生徒が学校生活について話したり、学校案内をしたりするなど、来校者から好評であり、生徒が担当する役割を果たし、帰属意識が高まった。

(7) 学校経営・組織体制

予算の適正かつ効果的な編成・執行や各種支援金の手続き等を経営企画室と教員系とで連絡調整を密にして、効果的な学校経営ができた。予算執行は適正に行われた。今後もさらに学校経営参画型の経営企画室を目指していく。

教育相談部を中心に、年次や保健部と連携をとり、情報の共有体制、事例検討会等において特別支援教育関連の取組みの一層の充実を図り、カウンセリング体制を充実させた。生徒が多様化する中、関連機関との連携も密にし、生徒一人一人の支援を図った。

多様化する生徒に対して適切な対応ができるよう、三者面談、個人面談、SC、YSWなどの面談等をおしてアセスメントを行い、組織的な対応できる体制を整備した。関係機関と連携し、早期対応に努め、早期終息に繋げることができた。

スクール・カウンセラーの全員面接及び年3回のいじめ調査において、気になる案件については聞き取り調査をし、いじめを未然に防止した。体罰についてのアンケートも年3回実施し、体罰の未然防止に努めた。教職員の年次有給休暇取得の推進等、働き方改革を進めているが、多忙な中で課題も多い。

2 数値目標と結果

項目	R5結果	R5数値目標	R4結果
単位修得率	65%	80%	70%
各種検定合格者数	延べ149名	延べ200名	延べ320名
卒業時の進路決定率	83%	75%以上	75%
部活動加入率	49%	60%	35%
学校行事充実度	75%	80%以上	75%
学校ホームページ毎月更新	260回	250回	250回
学校説明会来校者数	延べ618名	延べ700名	—
学校生活満足度 「桐ヶ丘高校に入学して(卒業して)よかった」	85%	90%	85%